

見性院住職(橋本 英樹)の365日一日一語集

—— 英樹和尚の勝手に言わせてください。 ——

- 1) 人生劇場は修行道場、だからこそ夢をみよう。
- 2) 正念は、天に通ず。
- 3) この世は、神・仏が創っている正直で壮大なドラマである。
- 4) 人生最高の幸福とは、好きなことを好きな人と夢中になってやれることである。
- 5) 人生とは、自己を知ることである。自己を知れば他己を知れる。他己を知れば世を知る。世を知れば天を知る。天を知れば人生を知る。
- 6) 義理人情も大事である。しかしながらこれからの時代は、人柄と実力重視である。正しいことをもはや遠慮することはない。
- 7) 人生で最も大事なことは、正しいことを追求すること。善行をなすこと。この二つである。
- 8) 嫌われずして大事を為すことなし。たたかれずして大成することなし。
- 9) 十人いれば十人の考えあり。わが道こそ掘り下げよう。
- 10) 現前、無心、集中。眼前、利他、選択。
- 11) 雑音気にせず、よそ見せず。大らかに、優雅に。
- 12) よけいなお付き合いは、百害あって一利なし。いい人と付き合おう。
- 13) ヒト・モノ・カネ、ヒトづくり・モノづくり・カネづくり。やはりお金は最後。
- 14) やることは目の前に。答は足下に。
- 15) こころは優雅に、からだは柔軟に、生活は簡素に、仕事は丁寧な。
- 16) いまのうち、できるうち、思っているうち。
- 17) 何をやるかより、何をやらないかが案外大事。無駄づかい、無駄なおつきあい。
- 18) 正念場、正しい信念を貫いてこそその場。
- 19) 自分だけではない。他の力を頂いてこそ。
- 20) 永遠の「今」、永遠の「命」、永遠の「空」。
- 21) この世もあの世も夢物語。
- 22) 現前にあるものは、仏という正直な世界だけである。
- 23) 損して得とれ、負けるが勝ち、自分より他を。
- 24) 坐禅こそ現世利益、坐禅こそ万病薬。
- 25) 正しい人事を尽くせば、あとは天におまかせ。
- 26) 誠実、正直、素直、公平、感謝、謙虚あるところに憂いなし。
- 27) 前を向いて。今こそ、こここそ、自分こそ。
- 28) 無心無欲は無量の功德。
- 29) 日々好日、日々改善、日々修行、日々感謝。
- 30) 瀬戸際をまっすぐに、まっすぐの道は天の道。
- 31) 自らの主義主張を旗幟鮮明にしたら、あとは堂々と謙虚に。
- 32) 地道にこつこつと。毎日一步一步。年々歳々よくなれば。
- 33) 停滞したら、墮落したら、勇気を持って人事刷新、人心一新。

- 34) 現代の悩める人たちに最も必要なこと。気にしない生活。
- 35) 最も快適な生活とは、しがらみのない人間関係である。
- 36) 最も有意義な仕事とは、夢中になれる労働である。
- 37) 最も効果のある休息とは、深い眠りである。
- 38) 興味のない勉強をいくらしても成果なし。
- 39) 基本的に仕事人で、勉強家、努力家の人は信用できる。
- 40) 意外と意味のないのが、惰性のおつきあい。
- 41) 意外と意味のあるのが袂を分かつこと。
- 42) 案外と平凡な毎日こそしあわせ。
- 43) 高邁な理念と純粋な情念を持てば、そこには必ず同志が結集す。(類は友を呼ぶ)
- 44) 時間という財産こそ、平等で貴重な価値のあるもの。(時は金なり)
- 45) 心配事のほとんどが、気のせいである。
- 46) 人間関係ほど、あてにならない、もろいものはないと思う。
- 47) 人柄をよくしていかないと、運命も改善していかない。
- 48) 自分のための自分勝手は成功しない。(邪念)
他のための自分勝手は成功する。(信念)
- 49) 妬みほどみっともないものなし。
- 50) 噂話に振り回される自分自身がいる時ほど気を付けよう。
- 51) まじめで一生懸命、人の悪口はほとんど言わない、こんな人になろう。
- 52) 爽やかに挨拶、さらりとお断り。後腐れなく。
- 53) 魅力ある人、与える人。ない人、けち。
- 54) 尊敬できる人、人に喜びを与える人。
残念な人、人を悲しませる人。
- 55) 本当の教育、相手の幸せを祈って突き放すこと。
- 56) 本物の大人、叩かれて叩かれて、どん底からはい上がってきた人。
- 57) やると決めたことは最後まで。一心不乱。
- 58) 物事は単純に、用事は簡略に、仕事は親切に。
- 59) いい仕事のできる人、いい休日を過ごせる人。
いい仕事のできない人、休日の遊びが過ぎる人。
- 60) 夢追い人×実行力×奉仕力＝成功力
- 61) これからのお寺は、もはや自営業である。
- 62) お寺の使命とは、救済と施しである。
- 63) 僧侶の使命とは、利他行、菩薩行である。
- 64) お寺とは、慈悲の修行道場である。
- 65) 僧侶とは、行いである。行いとは、戒律である。
- 66) 僧伽(さんが)とは、同じ志を持った善友による結集である。
- 67) 仏式の葬儀とは、授戒による懺悔滅罪の式である。
- 68) 自分の考えが最も正しいと思っていること自体が大間違いである。
すべてが一意見。人それぞれ。
- 69) 自分の考えを押しつけることそのものが傲慢。

- 70) そもそも少数意見ほど、声と態度だけは大きい。
- 71) 備わっている人には、黙っていてもにじみ出てくるものがあるものである。
- 72) 人の心配をしている暇があったら自分の心配を。
- 73) 人が心配をしているほど、案外人は悩んでいないものである。
- 74) 人に頼る前に、先ずは自分のできるところから。
- 75) 恩きせがましいことほどつまらないものはない。
- 76) 人は選んでつき合おう。悪縁は断とう。
- 77) 自分が思っているほど思われていないのが人間である。
- 78) シンプルな生活ほど、心はすっきり。
- 79) 迷ったら机に向かう。悩んだら目の前の仕事にとりかかる。
- 80) 自分の考えを押しつけてもダメ。離れていだけ。
備わっている人には、黙っていても人はついてくる。
- 81) 悪縁を断てば良縁に通ず。
- 82) 勇気を持って英断を。起死回生は危機の時から。
- 83) 小細工を弄する者には、正面から誠心誠意で。
天は必ず正しき者に味方する。
- 84) これからの住職は、信徒(檀家)を選んでいくべきだと思う。守・破・離
- 85) これからの信徒(檀家)は、お寺や住職を選んでいくべきだと思う。断・捨・離
- 86) 腐れ縁を断ち切ってこそ未来を創造できる。
- 87) なぜ若者は都会を目指すのか。田舎者はよく考えてみよう。
魅力のある地方創生。
- 88) 石原慎太郎氏の政界引退の捨てゼリフ
「いいたいことを言って、やりたいことをやって、あとは人から憎まれて死ぬだけだよ。」
こんなことが言える日本人がもっと増えたなら、日本はもっとよくなると思う。
腰砕けの日本人に喝。
- 89) 自由、自営、自立の時。こんないいことはない。
- 90) 自力から他力が生ず。他力は天の配剤によって果たされんことを。
- 91) 死とは人の死であった。人の死とは自分がこれから生きていく上での教訓でしかなかった。
ただその死が、今の自分にとって何を意味するのかということだけだった。
- 92) 死んだ人が、可愛そうなんて根拠はどこにもない。死んで楽になったかもしれないのです。
今までより、いいところに行って有意義に楽しんでいるかもしれないのです。
- 93) だからこそ、自分の死とはないんです。
- 94) 釈迦は言ったのです。「最後まで怠らずに勤め励めよ」と。
- 95) 「自灯明、法灯明」とは、「一生勉強、一生修行」「一生現役、一生求道」のことだと思ふ。
- 96) 履歴書、学歴はないよりあった方がよい。それ以上の評価は、信用力、仕事力しかありません。
- 97) 履歴書に7割は書いてある。いい人材の発掘が成功の鍵。
- 98) 仕事はしつこく、最後まで。人間関係は、あっさりとはどほどに。
- 99) 人はみな天からの使者、天からの声なき声と思って許していこう。
- 100) 生は授かりもの、死はお迎えもの。
- 101) 仏教は、懺悔の宗教、罪滅ぼしと思って生きよう。

- 102) 試練の時こそ懺悔滅罪の時。
- 103) 喜んで困難に立ち向かい、さらりと受け流そう。
- 104) 人は言うだろう。それでも人生は挑戦あるのみ、挑戦したものの勝ち。
- 105) 事業は、小刻みに一つ一つ確実にジャブを当てて行こう。
カウンターねらいは、やめておこう。
- 106) 押してだめなら引いてみよう、チャンスは向こうからやってくる。
- 107) 機が熟し、環境を整えていけば世界は変わる。
- 108) 生き詰まったら、掃除をしよう。掃除をすると心はすっきり。
心がすっきりすると、幸運の女神はにっこり。
- 109) 禁酒禁煙は、即健康増進
- 110) 悟りは悟りの方から、迷いは自分の方から。
- 111) なんだかんだと言われても、押し進めよう。一步一步。
- 112) 毎日毎日、目の前の仕事に夢中、集中。一番の幸せ。
- 113) やることをやって堂々と、結果を残していけばよいのです。
- 114) なぜ悪縁を断つのか。心を汚されないために。
- 115) 心を汚されなくなれば、有意義な生活・人生を得られます。
- 116) 禅語録には「我を生むは父母、我を成すは法友」という。
人は父母によって育てられ、世間によって成されていくものです。
可愛い子には旅をさせよ。正師・善友を得よう。
- 117) 人さまのお役に立てることが、魂が最も喜ばれるごちそうです。
- 118) 魂だけが、あの世への手みあげとして持って行ける唯一の閻魔さまへの福袋です。
- 119) どうせ死ぬんだから、好きなように生きようよ。
- 120) 毎日少しづつ、一つ一つ、それがいつの日にか大木になる。
- 121) 和合僧、大衆一如なんてものは、道場でのみはなし。娑婆世界では通用しません。
- 122) 人は批判するものです。たとえ相手が成功してもなかなか善意に受けとめてはくれません。
だけれども自らは過ちを犯せば、やはり素直に詫びるべきです。
- 123) 仕事も遊び感覚でできるようになったら、本物かもしれない。
- 124) 天命という感覚で時間を過ごすことほど、楽しいことはない。
- 125) 長命とは、一つは誰かの余命をいただいているのだと思う。
- 126) いやな人達とお付き合いさせていただいて来たおかげで、今が最高です。
苦勞はして来るものですね。人を見る目を養おう。
- 127) 多勢に無勢。本物はいつも無勢の中から。
- 128) 知識と経験。勉強してこなかった人には難しいですね、何事も。
- 129) 瀬戸際の時、正しい信念を貫いていけば、必ず神は天から降りてきます。
これが天命というものです。
- 130) 正直さ謙虚さこそ、天が味方をしてくれる最大の有効点です。
- 131) 後ろ盾が無くなってからが、本当の人生。
- 132) 何事も強い意志がなかったら、成就するわけがないでしょう。
- 133) 変に欲をかけば、神仏は反対のことを人にお与えになります。
- 134) 今だけで判断をしてはいけません、独裁者の終末。

- 135) 地位・名誉・財産を得ても、それに相応しくない人の評価は、巷間、まさしく陰で批判されているものです。裸の王様。
- 136) いくら着飾ってもダメ。中味はすでにバレているものです。
- 137) 歴史をつくっていく人は、間違いなく批難され命懸けです。だからこそ、英雄となるのです。
- 138) 常に攻めの姿勢で、時々立ち止まろう。
- 139) 大変革を成し遂げる時は、賛否の嵐が吹き荒れる。
不動明王の如く仁王立ちで、立ち向かうしか道はない。
- 140) 毎日が夢の途中、日々仕事。こんな人生を送ろう。
- 141) 掃除をしよう、坐禅をしよう。これが一番のリフレッシュ。
- 142) お坊さんにして一番困る事。偉くなったと勘違いすること。
- 143) なんだかんだと言われたくらいで、簡単に意志は曲げないこと。
- 144) 大組織といえども、正統派で真の改革者は怖いものです。
- 145) 最高の仏教者、高僧とは正しい仏教を生き、真の仏道に邁進している人。
- 146) 健康あっての大仕事、休息あっての大事業、休眠あっての大修行。
- 147) あまり口出しされないように、ほどほどの距離感をとりながらつき合おう。
いつでも離れられるように。
- 148) いつ終わるか判らないのが人生。少しの慎重さと挑戦あるのみ。
- 149) 大改革をする場合、一度人間関係を整理してみるのはいへん有益だと思う。
- 150) 命を狙われるつもりでやらないと、維新なんて無理です。
- 151) いざという時のために大事なこと。日頃の勉強、体力。
- 152) 僧侶こそ善友を選ぶべきです。よき布教はよき僧伽(さんが)・仲間を得てこそ。
- 153) 仏教という羅針盤、仏・法・僧の三宝よしがそろってはじめて成立。
- 154) 身・口・意、心・技・体、三方よしがそろって成就。
- 155) 老いては若きに従ってみるべきです。早く引退することも大事です。
思い出そう、若き日の生意気盛り。
- 156) 禅の功德の一つに、人生の無駄を知るといことがあります。
- 157) 無駄を知るといことは、本当に必要なものを知る能力が身に付くことではないでしょうか。
- 158) やって見ないとわからないこと、失敗して見ないとわからなかったことの多いこと。
- 159) だけど思い切ってやってみて、意外と良かったことの実に多いこと。
やはり、人生はわかりません。やった方が勝ち。
- 160) これからの時代は、思い切って簡素にシンプルに生きることでないでしょうか。
- 161) 時にしたたかに、時にわがままに生きた方がよいのかもしれない。
- 162) 折角の人生ですよ。好きなようにやらせてもらおうじゃありませんか。
責任は、自分にあるんですから。
- 163) 自分の人生を考えたら、思い切って断る勇気を持とう。
- 164) 追い込まれる前に、この呪縛から逃れることです。
- 165) 釈迦は言った「人生は苦である」と。だから、まだまだ楽しもうよ。
- 166) 時代を切り開く時、争いは避けられません。
- 167) 頑固さと寛容さ、この二つの絶妙なバランスがいつも決め手です。
- 168) 何だかんだと言われながら、柳に風、のれんに腕押し、そんなどこ吹く風も時には必要ですね。

- 169)捨てる神あれば拾う神あり。何とか生きて行けるものですよ。今の時代は。
- 170)身軽にさえしておけば、どこにでも行ける。
持つことより捨てる時代。借りとく時代。
- 171)広げよう同志の輪、狭めよう義理の輪。
- 172)横槍が入ろうが何をされようが、振れたらダメ。守ってもダメ。
- 173)侵入されないように城をつくること。城は“こころ”なんだよね。
- 174)袂を分かった後、関係を修復したい人というのはほとんどいないものです。
心配御無用。
いい人は集まってくるものです。
- 175)とにかく、下手にお世話にならないことです。その代償の方がいつも高くつくのですから。
- 176)好きなように言わせておいた方がよいのです。
なぜなら、それをすべて吸収して、自らの血と肉にしていけばよいのですから。
- 177)時に法螺(ほら)を吹くことがあっても、周りを抱え込んでその気にさせていけばよいのです。
次第に現実味を帯びてくるものです。
- 178)効率的な先鋭部隊、有能集団をつくる方法は一つしかありません。
やる気のある人を入れて、やる気のない人にやめてもらうことです。
- 179)神仏に敬虔(けいけん)、勤勉で儉約、こういう人なら先ず大丈夫。
- 180)やれるだけの事をすれば、悔いはないものです。
- 181)孤軍奮闘していても、孤立はしないものですね。味方は増えます。(徳は孤ならず、必ず隣りあり)
- 182)夢中で、無心に、ひたむきにやっている人を、誰も止められません。
- 183)群れずにやっている方が、楽しいし気楽なものですよ。
- 184)相手のつけ入る隙をつくらず、常時あいだを空けずに打ち続けていることですね。
それがそのまま防波堤になります。
- 185)人は必ず死にゆくものです。だから、何も心配することはありません。
- 186)何だかんだと言われながらも、しぶとくやり続けていれば根負けしてくれますよ。一意専心。
- 187)自分と自分の住む世界は同じ。
自分を捨てて自分の考えを変えてみると、そこに見える世界は必ず変わります。
すべては自分の見方次第。因は自にあり、縁は他にあり。
- 188)真向勝負、当たって砕けろ。
- 189)何事も本気で、本物を目指そう。王道本流。
- 190)一寸先は闇、だからこそ目の前のことに集中するしかありません。
- 191)人生は、薄暗いトンネルを行くようなもの。でもトンネルを抜けた時が爽快なんだよね。
- 192)今の時代、インターネットがあるおかげで“人・もの・カネ”には、うまくやれば困らないいい時代です。
- 193)性善説に立って、取りあえず素直に人を信じてみよう。
- 194)だまされたっていいじゃない。自分に欲がなければ、天は手を差し伸べますよ。
- 195)正しいことをして金銭を得ることは、善行です。あとは、その使い道でしょうね。
- 196)所属団体などは、ほとんど関係ありません。あなた自身の人柄や実力、経歴が問題なのです。
- 197)成功への近道。
余計なことをしない。
本当に必要で大事なことに絞り込んでいく。
これしかないと思う。

- 198) 下手に友人・知人はつくるものではありません。
腐れ縁は自然消滅へと上手くもっていきましょう。
- 199) 袂を分かったあとは、必ずしも和解や復縁を願うのではなく、
新たな出会いを求めて再出発すべきでしょう。
- 200) 人間はそうそう変わりません。過度の期待は禁物です。
- 201) すべては他人(ひと)のこと。自分はどうするのかだけのこと。
- 202) ところに突き刺さることを言われた方は、一生根に持つものです。
- 203) 苦勞を苦勞と思わず楽しめる人生こそ、いい人生。
- 204) 死んでから樂ができるように、修行の人生を送ろうよ。
- 205) 今の時代は特に間違いなく若い人の方が有利なんですから、やりましょうよ。
臆病者の若人になるな。但し、正統派で行け。私利私欲を捨てること。
- 206) 成功の秘訣の一つに継続というものがあります。
あきらめずに根気よく続けていれば、根負けしてくれますよ。
- 207) その人に養ってもらっているものでなければ、特に問題はないはずです。
- 208) 外注の方が、“はやい・やすい・うまい”ってこと、結構多いですね。
- 209) お金が目的の宗教・僧侶は、ほぼ間違いなくインチキとっていいのかもしれませんが。
- 210) 修羅場をくぐり哲学を持たないトップに、正しい判断はできないと思う。
なぜならいつも苦渋の決断を迫られるのですから。
- 211) なかなかやる気が出ない時、待ってみるのも一案です。不思議と力が湧いてくることがあります。
- 212) 今の時代、嫌だったらやめればいいだけです。
- 213) 人は人、自分は自分、人はどんどん入れ代ります。自分もそうです。さらば友よ。
- 214) あっという間の人生でしょ。やらなきゃ損、迷ったらやってみる。
- 215) 岐路に立ったら、いばらの道を。
- 216) 階段利用主義は、健康向上主義。
- 217) 常に勉強、即実践、常に思案、即実行。
- 218) 経験は最大の教師なり。最高の教訓なり。
- 219) 人の頭のハエを追っているうちに、自分の頭のハエを追えなくなる。
人のことを考えているうちに、自分のことができなくなるものです。
- 220) 時の過ぎ行くままに歩んでみよう。風景は意外と変わるものです。
- 221) 無駄なお金は使わなくてよかったと思うことよくありますね。
但し、生きたお金は使わないと徳は積みません。
- 222) 猛烈に働き、それからゆっくり休むこと。何事もメリハリは必要。だけど、続けないとね。
- 223) 私の個人的に嫌いなものの一つに、長時間の宴会があります。
人生やり直せるなら、これは必要なかったですね。意味ないですね。くだらない無駄ごと。
- 224) 悪習はどこかで見切りをつけることですね。勇気をもって、断ち切っていく努力をしましょう。
- 225) 50年生きてきてわかったこと。人間、いい人と付き合わなかったら良くはならないということ。
- 226) 悪口は、言えば言うほどあなた自身が不幸・不運になるというものです。
- 227) これからの時代、組合活動にはほとんど意味はなくなっていくのかもしれませんが。
- 228) 日米大学の比較、ゼミや学会後の飲み会、日本はやりすぎ。米国ではほとんどなかった。
- 229) 人生やり直せるなら、あまり飲み会には行かなければよかった。

- 230) 飲み会で得意になって持論を展開する呑兵衛(のんべい)の意見は、所詮は戯言です。
- 231) 私の今一番の幸せ。方向性の異なった同業者の会合に無理して出なくてもよくなったこと。
- 232) 気難しい人、すぐに怒るような人とは、さっさと別れましょう。
- 233) 尊敬できる人がいない世界に身を置いていることは、不幸です。
会社でも大学でも時に思い切ってやめましょう。
時間の浪費だけです。得るものが無いのですから。
- 234) 結局は身を立っていき素養や技能を備えていくことが一番重要。
人脈や組織に頼っても自らに力のない人は、落ちぶれていくだけです。
- 235) ある意味一回の人生、賭けてみるべきでしょう。但し慎重に。
- 236) 走りながら考える。手は緩めず、布石は打っておく。
- 237) 実力のない人には、改革はできません。
- 238) 勇気のない人には、革新的なアイデアは出てきません。
- 239) 間口、裾野を広げて鞍替えさせていくことが、営業ってもんでしょ。
- 240) どんな立派なことをいってしても、その根底には、やはり財力は必要です。
- 241) 規則や規制に縛られていても、それを突破していくのが維新・開拓者ってもんでしょ。
- 242) 内情のわからない他人が、よその内の事にいちいち口出しをするものではありません。
出しゃばりというものです。
- 243) 目の前のすべき仕事をしているか、
好きな勉強をしていればストレスはたまらないのではないのでしょうか。
- 244) どうせいずれいなくなるんですから、好きにすればいいってことです。
- 245) 自分の仕事に、人間関係に、影響が出るからやめてくださいという人がいます。
こうなったらおしまいです。もう少し努力したら。
- 246) 反対されても、反対されても、継続、継続、これ以上の力はありません。
- 247) 生・老・病・死、諸行無常の苦だから、世の中本当は心地いいんでしょうね。
- 248) おそらくは日本の大学の9割以上の授業・講義は、意味がないんでしょうね。(内容による)
- 249) あまり意味のない三大イベント、冠婚葬祭、飲み会、大学の授業。(内容による)
- 250) 絶妙の人事。正しい判断をしていれば必ず人は現れるものです。
- 251) 世の中、代わりの人はいくらでもいます。うぬぼれは禁物、余人をもって代えがたい人になろう。
- 252) 一生懸命、真面目にこつこつやっていたら、
結束の固い敵陣の帯もほどけて、綻びてくるものです。振れないこと。
- 253) 目先の損得に動かされて、立ち回る人に将来はありません。
- 254) 守っていく人生より、攻めていく人生のほうが楽しいと思うんですけど、少ないんですよ。
- 255) うつ病・薬物にお悩みの方、坐禅による効能を試みてはいかがですか。
- 256) 急がば回れ。一度負けてみる。相手を喜ばせる。
- 257) 人事の入れ替えは心を鬼に、態度だけは仏様で。
- 258) 仏縁はいつも絶妙なタイミング。いつでも天は見ているという気持ちで生きていくしかありません。
- 259) 人間、これは人にはそうそう負けない！特殊技能とか能力を備えないといけません。
いざという時に生きて行く上で必ず武器となります。
- 260) 若い時には一生持って行けるような素養や実力を養うことが、一番重要なことのように思います。
そうでないと、年老いてから悪知恵だけが働く人間となってしまいます。
- 261) 利用できるものは利用していく。切り捨てるものは捨てていく。
一見無情ではあるが、今の世の中このくらいでちょうどいい。

- 262) 坦々と肅々と、常に平然と自然体でいよう。
- 263) 考えに考えたら、あとはやるやる、やるしかない。
- 264) 成功したらこっちのもの、それまではとにかく辛抱、辛抱、それしかありません。
- 265) 不飲酒戒という重要な戒律がある以上、
堂々とお酒を飲み、毒舌を吐くような僧侶は、僧侶ではありません。
- 266) 私の経験からして、超宗派の僧侶の人たちとの交流は実に意義深い。
しかしながら一つの方向性になるような決定は超宗派では極めて難しい。
- 267) 本物を目指す仏道修行者には、できるだけ禁煙禁酒を守っていただきたい。
- 268) 本当の宗教指導者を目指すなら、少なくとも戒律重視でいていただきたい。
- 269) 本来、破戒僧に戒名の授与はできないんだと思う。
- 270) 僧侶は国家資格ではありません。ですから尚のこと普段の素行が問われるのです。
- 271) 『葷酒山門に入るを許さず。』もうそろそろ、寺での飲み会はどこでもやめる
時期に来ているのだと思う。
- 272) 人生を決する時間帯、いかに孤独の時間に汗するか、
人という時はさほど重要な時を過ごしていないんだと思う。
- 273) あまりあれこれ考えずにやる。やる、やる、やるしかない。
- 274) 若さだけでも、武器になります。挑戦あるのみ。
- 275) 僧侶はあくまでも自分に厳しく、人に寛容であるべきです。
- 276) 人を雇用してつくづく思うこと。教養や技量、人柄・経歴がいかにか大事であるかということ。
- 277) 人がどうのこうのではなく、自分がどうするか、どうしたいのかだけのこと。
- 278) とにかくシンプルにシンプルに、余計なことはしない時代。簡素化のすすめ。
- 279) 人の悪口を言って、能書きを言い放っている暇があったら、自分のことをしてください。
- 280) 所詮は凡人の戯言、気にしない、きにしない。
- 281) 我欲を捨てて全うにやっていたら、誹謗中傷はあまり気にしなくて良いはずです。
- 282) 支払うものを支払わなければ、売れるものも売れない。
出すものを出さなければ、入るものも入らない。
- 283) 消費飽和の時代、生き残れるものは効率化と満足度がキーワードになると思う。
- 284) 菩提寺の住職に品行方正を願っている方は、決してお酒を勧めてはいけません。
- 285) 世の中、変人はいるものです。人のやることなすことがすべて気に入らないという人がいます。
だから多数決があるんでしょうね。
- 286) お寺の研修旅行で、宴会なんてやってはいけなかったと思う今日この頃。
飲むんだったらこっそりやっていただきたい。
- 287) 自分の都合の悪い仕事はやりたがらないものです。
だから、睨みをきかせる悪役になる人が必要なんじゃないかな。
- 288) 同業者には嫌われるくらいがちょうどよい。
もしも好かれていたら、それは何もやっていないのと同じです。
- 289) いつでもどこでも堂々としていられる人間になりたいものですね。
- 290) 何があっても一喜一憂しない。いつでも毅然として平常心でいられる人が悟りの人です。
- 291) 今の時代のキーワード。チェンジ(変革)、チャレンジ(挑戦)、チョイス(選択)。
- 292) あっという間に、この世からいなくなるんですよ。何をやっているのでしょうか、見つめよう、自分自身。
- 293) あっという間の今日一日、でもよくやった、いい一日だったと思える日だった。
この集大成が死ですよ。

- 294) 最大の脅威は、不撓不屈の継続ですかね。
- 295) 面倒な人、厄介な人がいます。適当にあしらっておくしかありません。
本気で相手にしないこと。
- 296) 何かしてくれるわけじゃありませんから、所詮関係ありません。
- 297) 人は次第に絞られてきます。だから、心配ありません。篩いにかけていくものです。
- 298) かつこつけてもダメ、中味、内容。周りは知っています。内面は必ず表に出ます。
- 299) いちいち気にせず今日一日、自分の生きたいように生きてみる。
- 300) 先ずは捨ててみる。得るものの方がはるかに多いのです。
- 301) 悪縁なんてさっさと切り捨ててしましましょうよ。もっといい人、遥かにいい人、現れます。
そして大切なことは、いい人を育てること。
- 302) 僧侶こそ 一に人柄、二に人柄、三四が無くて、五に人柄、だから私は選ぶのです。
皆さんも選んでください。
- 303) 人は石垣、人は城、人が集結し、人材が優秀であれば、これ以上の力はありません。
その根幹となる哲学を礎にして飛躍あるのみ。
- 304) よっぽど愛されるべき人か、人並み外れた実力のある人かでない限り、
そうそう世の中の人から絶大な支持はいただけません。
- 305) 何事も中身で勝負、磨こう自分、備えよう実力。外見では負けているんですから。
- 306) 声には出さなくても、悔しかったらあなたもやってください、でいいのではないのでしょうか。
- 307) 方向性が違うなと思ったら、
距離を置いていくのも人間関係を上手くやっていく一つのコツではないでしょうか。
- 308) 事業というのは正しく、しどくとく、たくましくやっていこう、あせらずに。
- 309) みんなと仲良く親しくする必要なんて、全くなかったですね。
- 310) 出会いと別れは連続です。振り回されないこと。
- 311) 折角授かった人生。ゴシップ(噂話)などに興味を持ってもつまらないですね。
有意義に自分の夢を見ようよ。
- 312) 頑固に堅実にこつこつと、打ち続けていこう岩盤規制、突破！
- 313) 打算的、あまりに政治的な人とはつき合わないに越したことはありません。
- 314) 兎に角、前へ前へ、やり続けなかったら意味はありません。
- 315) 行け行け、どんどん、すべては世のため人のために。
- 316) 俗世に浸り、俗世を味わい、俗世を離れる。
俗世の中から聖なるものを咲かせよう。汚泥に浮かぶ一輪の蓮の花のように。
- 317) 兎にも角にも打ち続けることが、最大の防御。
- 318) 新しいことを始めて良く言ってくれる人は、先ずいません。
それを承知で一つ一つクリアしていきましょう。
- 319) 海外へ行こう。帰国後は、型破りのことをしてください。
破天荒なことができる人は、特殊な才能を持った者だけに与えられる特権のようなものです。
- 320) 先ずはできるところから、小さなことを一つ一つこつこつと積み上げましょう。
嫌でもその先には大事業が待っているものです。
- 321) 謙虚に行動し、堂々と結果を出して行きましょう。
- 322) 欲を出さずに、人さまのために奉仕で仕事を振っていると、
不思議と次第にいい仕事が舞い込んでくるものです。

- 323)あまり考えすぎずに次に行こう。やっているうちに見えてくるものです。
- 324)大丈夫、人事も人もどんどん入れ代わる。
- 325)犠牲になってくれる人がいて、初めて世の中は変わります。
やはり感謝をし、それを糧として恩に報いていくことでしょうね。
- 326)本当にやりたかったら、口に出して周りをその気にさせていくしかありません。
洗脳や法螺吹きも時に大事。
- 327)組織の体質が変わらない限り、暗躍する人は絶えません。だから、抜本的改革が必要なのです。
- 328)耐えて、忍んで、待ってみよう。状況が変わる時は必ず来る。
- 329)一寸先はいつも闇。いつ光明が射すかわかりません。とにかく用意周到に準備しておこう。
- 330)兎に角、時が来るのを待ってみよう。焦ることなく環境を整えていく。
時代はいつも待ち受けていた方が勝ち。
- 331)50年生きてると、お世話になったほとんどの人がいなくなったような気がする。
これでいいのかもしれない。
- 332)実践の伴わない批評家の意見は、所詮戯言。
- 333)さあ、もうあの人もない、この人もいなくなった。だから大いに好きにやらせてもらおう。
- 334)次から次にいい人が集まるようになってきた。ようやく。それもこれも、過去の失敗のおかげ。
- 335)ようやくいい人材に恵まれ、いい仕事もできるようになってきた。もう過去には決して戻りたくない。
- 336)しがらみを断って、自由にしたたかにやっていく時代。
いいサービス、いい商品を提供しよう。あまり無駄なことにはお金を使わずに。
- 337)人にしてもらおう前に、先ず自分のできるところから始めよう。
隗より始めよ。やがて人は見習ってくれるものです。
- 338)大丈夫。なるようになる。造悪のものは落ち、修善のものはのぼる。
信じる道はこれしかありません。遥かなる仏の道へ。一步一步。
- 339)兎に角、人に厳しいのが人間、自分が見えていないのも人間。
人の振り見て我が振り直すしかありません。人を叱る前に自己点検。
- 340)いろんな人がいて、いろんな考えや意見があるのも世の中。
包容力をもって柔軟に対応し、受け入れていく人が勝ちですね。ぶれない軸だけは持つて。
- 341)あっという間の人生、いつまでも生きている人なんていません。
だから気をつかうことなんてありません。
- 342)人は皆忘れ去られていく存在。忘却の彼方に沈みゆくものです。
そうそう価値のあるものでもなさそうです。
ただ、何かに引っ張られて生かされていることだけは事実のようです。
- 343)実力が無いことくらいはわかります。
地位や名誉、権力に近づくことでしか生きられない人には、ならないようにすることです。
- 344)肩で風を切っている人を見かけます。これで袈裟を掛けている人がいます。気の毒な人です。
- 345)何事もやり続けることでしか成就の道はありません。実行、続行、即成就。一生修行、修行即成就。
- 346)ストレスのほとんどは人間関係か資金繰りです。ですから、生活環境を変えていくしかないでしょうね。
- 347)少々のこと動揺なんてしたらダメ。相手は揺さ振っているだけ。
圧力には、のれんに腕押しで、包囲網には直立不動で掘り下げしていくのみ。糠に釘。
- 348)革新的即、村八分これは宿命論。これを使命感にして天命に変える。
- 349)悟りは必然、迷いは偶然。
人の正当性は天によって偶然的必然性をもたらすものである。うまくいくようにしてくれるもの。

- 350) 規則や規制よりも心得や指針の方が、遥かに大事だと思う。
自らにやってはいけない戒律や心得を課して、
人は初めて謙虚に素直になれるのではないのでしょうか。
- 351) 僧侶は冷たい人が多いといわれてしまった。特殊な世界で生きているだけに、肝に銘じたいと思う。
- 352) 特に東日本大震災後、仏教界に異変が起きている。
世間体とかよりも実を取りたいという人が、急速に増えてきた。ここからが大勝負。
- 353) その人が自分に対してどう思っているのかは、態度でおおよそ察しがつくものです。
そこでうまく仕分けをし、選別していけばよいのです。恐れることはありません。
- 354) 今の時代、合理的効率的スリム化しか経営の健全化を図ることは難しいと思う。
整理統合時代。キーワードは知恵と革新性。
- 355) 激動のグローバル時代でも、
お寺の改革はやはりスピーディよりもステップバイステップ(一步一步)でしょうね。
徐々に山は動きつつある。
- 356) なんでも思いつくままにやってみる。やりながらまたいいアイデアが出てくるものです。
- 357) 世のため、人のために、私利私欲を捨てながら、無邪気にまっすぐに真面目にやっていると、
必ず助っ人、いい人が現われるものです。
- 358) 自分のことは棚に上げて、子供を押しつけてきた人は大概失敗している。
- 359) どんな仕事・職業でも清潔感は非常に大事ですね。
これが決め手となってしまふことは、往々にして多いと思う。
- 360) 組織が成長していく中で、睨みが利き、重しとなる人は必要です。
黒子となる陰の立役者を持つことが、成功の秘訣だと思う。
- 361) あまりにも失敗間違いが多い人は集中力がない証拠。
やめてもらうしかありませんが、そういう人は単純作業をするしかありません。
- 362) みんながみんな賛同してくれる訳がありません。
度量を大きくして大局的に物事を判断し、受け入れていく包容力をもった人、大物を目指そう。
- 363) 前例のないことをやって慣例を打ち破っていく。チャンス到来。やるしかない。
- 364) とにかく、人に何と言われようが行くしかない。行くも地獄、退くも地獄だから。
- 365) 檀家制度をやっているうちは、檀家からあれこれ言われて当然。檀家さんは完全固定客の施主。
お寺は扶養されているのですから。このような窮屈な関係はやめてしましましょう。

一年間の「ひとりごと」が完成いたしました。
いろいろと、ご批判もございましょうが、ご指導賜りますよう切にお願い申し上げます。

初稿

「英樹和尚のひとりごと」

——勝手に言わせてください。365日一日一語。——

平成27年(2015年)5月27日改定
令和2年(2020年)5月13日再編

見性院 住職 橋本英樹